

樺台春秋 秋ゴルフの楽しみ

猛暑に見舞われた夏の記憶もう過去のものになりつつある。朝夕はめっきり涼しくなり、タオルケットから毛布、薄手の掛布団へと取り換えた方も多いただろう。樺台カントリークラブがある雄和地域では稲刈りが進んでおり、出来秋を実感できる風景が広がっている▼秋はゴルファーにとってベストシーズンと言われている。湿度が少なく、快適にプレーできるうえ、温度も適度で体への負担も少ない。何よりもコースコンディションが最高で、芝の抵抗も弱まり、ショットの難易度が下がり、良いスコアが出やすいとされている▼樺台では半袖のシャツ1枚に短パンというプレーヤーが多かった夏から、ポロシャツの下に長そでのアンダーウェアを着て、長ズボンに衣替えしたプレーヤーが増えている。猛暑で夏の間、顔を見せなかったが、久しぶりにラウンドを楽しむプレーヤーも少なくない▼これからはラウンドを楽しんだ後に、周囲の紅葉スポットに足を延ばすプレーヤーも増えてくると思われる。昨年も「近くで紅葉の綺麗な場所はどこですか」といった問い合わせを複数受けた。県立中央公園などがおすすめのスポットである▼9月21日からはレストランも秋メニューがスタート。サーモンソテーウニ焼き、カキフライ定食などが新たに登場。とんかつ蕎麦や豚ロース生姜焼き定食、肉野菜炒め定食といった人気メニューとともに、新メニューも是非一度味わってほしいと思います▼個人的なことだが、ラウンド中ミスショットをした後に気分転換の意味を込めて、こっそり歌を口ずさむことがある。夏の間は♪夏は心のカギを甘くするはご用心、あぶない、あぶない♪と桜田淳子さんの「夏にご用心」だったが、季節が変わり、最近は♪風立ちぬ今は秋、今日から私は心の旅人♪と松田聖子さんの「風立ちぬ」が出てくる。ちょっと古いが、昭和のおじさんにはこの辺りが丁度いい。